

(学)宮崎総合学院 九州工科自動車専門学校
2026年度 授業シラバス

授業科目名	エンジン点検・分解・組立・調整・検査		新科目コード	1118	
開講クラス	自動車整備科	コース		学年	1年
担当教員	木村 信宜 他 2名		実務経験教員 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)		
	実務経験内容 1995年4月～2011年2月 自動車整備士 2011年3月～ (本校にて勤務)				
開講時期	<input checked="" type="radio"/> 前期 ・ 後期 ・ 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	189	時間
	<input checked="" type="radio"/> 必須 ・ 選択 ・ 選択必須		単位数	4	単位
使用テキスト1	書名	三級自動車整備士(総合)			
	著者	日本自動車整備振興会連合会			
	出版社	日本自動車整備振興会連合会			
使用テキスト2	書名	実習テキスト			
	著者	九州工科自動車専門学校			
	出版社				
参考図書	自動車定期点検整備の手引き、自動車工具機器、基礎自動車工学等				
授業形態	講義 ・ 演習 <input checked="" type="radio"/> 実習 ・ その他 ()				
<p>〈 授業の目的 ・ 目標 〉</p> <p>学科で学んだ内容を実物と見比べて、実際の作動やその部品の役割をより深く理解する。</p>					
<p>〈 授業の概要 ・ 授業方針 〉</p> <p>エンジンオーバーホール構造、作動、各部の名称などと、工具の基本的な使用方法を理解し、実車からのエンジン脱着方法と点検方法、インターンシップにより整備士の実際の仕事を体験することを通じて学習への取り組みを振り返ることで、学科で学んだ内容と結びつけて理解し、実作業で役立たせることのできる知識を得ること。</p>					
<p>〈 成績基準 ・ 評価基準 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 各テスト、実技試験の結果、授業態度、を評価対象とする。 インターンシップにおいては、レポート及び企業からの評価を対象とする。 					
<p>〈 使用問題集 ・ 注意事項 〉</p> <p>日本自動車整備振興会連合会 / 三級自動車整備士(総合) 全国自動車大学校・整備専門学校協会 ガソリン・エンジン構造 / 実習テキスト</p>					
<p>〈 授業以外に必要な学修内容、関連科目、他 〉</p> <p>学科全科目</p>					

授業科目名	エンジン点検・分解・組立・調整・検査	
回	授 業 内 容	備考
1	エンジン・オーバーホール	80時間
2	エンジン名称試験、エンジン測定試験、	20時間
3	タイミング・ベルト脱着実技試験	12時間
4	実車からのエンジン脱着	60時間
5	6ヶ月点検	17時間
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

(学)宮崎総合学院 九州工科自動車専門学校
2026年度 授業シラバス

授業科目名	シャシ点検・分解・組立・調整・検査		新 科目コード	1128	
開講クラス	自動車整備科	コース		学 年	1年
担当教員	木村 信宜 他 2名		実務経験教員 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)		
	実務経験内容 1995年4月～2011年2月 自動車整備士 2011年3月～ (本校にて勤務)				
開講時期	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 <input type="radio"/> 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	165 時間	
	<input checked="" type="radio"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	3 単位	
使用 テキスト1	書 名	三級自動車整備士(総合)			
	著 者	日本自動車整備振興会連合会			
	出版社	日本自動車整備振興会連合会			
使用 テキスト2	書 名	実習テキスト			
	著 者	九州工科自動車専門学校			
	出版社				
参考図書	自動車定期点検整備の手引き、自動車工具機器、基礎自動車工学等				
授業形態	講義 ・ 演習 <input checked="" type="radio"/> 実習 ・ その他 ()				
<p>< 授業の目的 ・ 目標 ></p> <p>学科で学んだ内容を実物と見比べて、実際の作動やその部品の役割をより深く理解する。</p>					
<p>< 授業の概要 ・ 授業方針 ></p> <p>クラッチ、マニュアルトランスミッション、デファレンシャル、ステアリング装置、ブレーキ装置、の構造、作動、各部の名称などと、工具の基本的な使用方法を理解し、点検方法、インターンシップにより整備士の実際の仕事を体験することを通じて学習への取り組みを振り返ることで、学科で学んだ内容と結びつけて理解し、実作業で役立たせることのできる知識を得ること。</p>					
<p>< 成績基準 ・ 評価基準 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各テスト、実技試験の結果、授業態度、を評価対象とする。 ・インターンシップにおいては、レポート及び企業からの評価を対象とする。 					
<p>< 使用問題集 ・ 注意事項 ></p> <p>日本自動車整備振興会連合会 / 三級自動車整備士(総合) 全国自動車大学校・整備専門学校協会 ガソリン・エンジン構造、シャシ構造 I / 実習テキスト</p>					
<p>< 授業以外に必要な学修内容、関連科目、他 ></p> <p>学科全科目</p>					

授業科目名	シャシ点検・分解・組立・調整・検査	
回	授 業 内 容	備考
1	クラッチ・分解・組立	6時間
2	クラッチ名称試験	2時間
3	マニュアル・トランスミッション(FR)分解・組立	18時間
4	マニュアル・トランスミッション(FR)名称試験	2時間
5	デファレンシャル・分解・組立・調整	6時間
6	デファレンシャル名称試験、バックラッシュ調整実技試験	9時間
7	マニュアル・トランスミッション(FF)・分解・組立	18時間
8	マニュアル・トランスミッション(FF)名称試験	2時間
9	プロペラ・シャフト&ドライブ・シャフト・分解・組立	10時間
10	プロペラ・シャフト&ドライブ・シャフト名称試験	2時間
11	ステアリング装置・分解・組立・調整	12時間
12	ステアリング名称試験	2時間
13	インターンシップ	54時間
14	ブレーキ装置・分解・組立・調整	10時間
15	ブレーキ装置名称試験、ドラムブレーキ脱着実技試験	12時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

(学)宮崎総合学院 九州工科自動車専門学校
2026年度 授業シラバス

授業科目名	電子制御装置		新科目コード	1119	
開講クラス	自動車整備科	コース		学年	1年
担当教員	木村 信宜 他 2名		実務経験教員 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)		
	実務経験内容 1995年4月～2011年2月 自動車整備士 2011年3月～ (本校にて勤務)				
開講時期	<input checked="" type="radio"/> 前期 ・ 後期 ・ 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	91	時間
	<input checked="" type="radio"/> 必須 ・ 選択 ・ 選択必須		単位数	2	単位
使用テキスト1	書名	三級自動車整備士(総合)			
	著者	日本自動車整備振興会連合会			
	出版社	日本自動車整備振興会連合会			
使用テキスト2	書名	実習テキスト			
	著者	九州工科自動車専門学校			
	出版社				
参考図書	三級自動車整備士(総合) 電装品構造				
授業形態	講義 ・ 演習 <input checked="" type="radio"/> 実習 ・ その他 ()				
<p>< 授業の目的 ・ 目標 ></p> <p>車両の制御に必要な電子制御装置の装着個所を確認し、点検・整備の内容をしる。サーキットテスタ、スキャンツール、ホイールアライメントテスタを用い基本的な点検整備の方法を学ぶ。</p>					
<p>< 授業の概要 ・ 授業方針 ></p> <p>正しい点検、整備の手順を学び基礎知識と経験を養わせる。 サーキットテスタ、スキャンツールの使用方法を学び、即戦力となるように経験値を積む。 電子制御装置の仕組みと役割を学び点検、整備につながる知識を身につけさせる。</p>					
<p>< 成績基準 ・ 評価基準 ></p> <p>サーキットテスタ、スキャンツールの使用方法の学科、実技の両面で評価。 実習態度を見て減点評価。 電子制御装置の仕組みと役割を学科、実技の両面で評価。</p>					
<p>< 使用問題集 ・ 注意事項 ></p> <p>日本自動車整備振興会連合会 / 三級自動車整備士(総合) 全国自動車大学校・整備専門学校協会 ガソリン・エンジン構造、シャシ構造 I / 実習テキスト</p>					
<p>< 授業以外に必要な学修内容、関連科目、他 ></p> <p>整備作業機器 三級自動車整備士(総合) 力学数学 電装品構造</p>					

授業科目名		電子制御装置
回	授 業 内 容	備考
1	電子制御装置の役割、仕組みの基礎知識	6時間
2	基本的なスキャンツールの使用方法と実践	15時間
3	サーキットテスタの仕組み、使用法の理解	12時間
4	サーキットテスタを用いた回路の点検	15時間
5	テスターを用いた電子制御装置の点検	12時間
6	エーミングセットを用いたセンサー、レーダー類の調整	13時間
7	学科、実技試験	18時間
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

(学)宮崎総合学院 九州工科自動車専門学校
2026年度 授業シラバス

授業科目名	電装点検・分解・組立・調整・検査		新 科目コード	1129	
開講クラス	自動車整備科	コース		学 年	1年
担当教員	木村 信宜 他 2名		実務経験教員 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)		
	実務経験内容 1995年4月～2011年2月 自動車整備士 2011年3月～ (本校にて勤務)				
開講時期	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 ・ 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	140	時間
	<input checked="" type="radio"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	3	単 位
使用 テキスト1	書 名	三級自動車整備士(総合)			
	著 者	日本自動車整備振興会連合会			
	出版社	日本自動車整備振興会連合会			
使用 テキスト2	書 名	実習テキスト			
	著 者	九州工科自動車専門学校			
	出版社				
参考図書	自動車定期点検整備の手引き、自動車工具機器、基礎自動車工学等、電装品構造				
授業形態	講義 ・ 演習 <input checked="" type="radio"/> 実習 ・ その他 ()				
<p>< 授業の目的 ・ 目標 ></p> <p>学科で学んだ内容を実物と見比べて、実際の作動やその部品の役割をより深く理解する。</p>					
<p>< 授業の概要 ・ 授業方針 ></p> <p>工具の基本的な使用方法を理解し、電気の基礎や実車からのエンジン脱着方法と点検方法、インターンシップにより整備士の実際の仕事を体験することを通じて学習への取り組みを振り返ることで、学科で学んだ内容と結びつけて理解し、実作業で役立たせることのできる知識を得ること。</p>					
<p>< 成績基準 ・ 評価基準 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各テスト、実技試験の結果、授業態度、を評価対象とする。 ・インターンシップにおいては、レポート及び企業からの評価を対象とする。 					
<p>< 使用問題集 ・ 注意事項 ></p> <p>日本自動車整備振興会連合会 / 三級自動車整備士(総合) 全国自動車大学校・整備専門学校協会 ガソリン・エンジン構造、シャシ構造 I、電装品構造 / 実習テキスト</p>					
<p>< 授業以外に必要な学修内容、関連科目、他 ></p> <p>学科全科目</p>					

(学)宮崎総合学院 九州工科自動車専門学校
2026年度 授業シラバス

授業科目名		電装点検・分解・組立・調整・検査
回	授 業 内 容	備考
1	電気の基礎	70時間
2	電気回路の計算試験	2時間
3	灯火パネル実技試験	10時間
4	インターンシップ	20時間
5	実車からのエンジン脱着	30時間
6	6ヶ月点検	8時間
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		